

ようこそ 図書館へ

第25号

2018年11月
津市図書館



おもな内容

P1～P2…世界にひとつだけの絵本ができました!
P3………知ろう私たちの郷土
P4………レファレンス事例集、図書館員のひとりごと、おすすめの本

世界にひとつだけの絵本ができました!



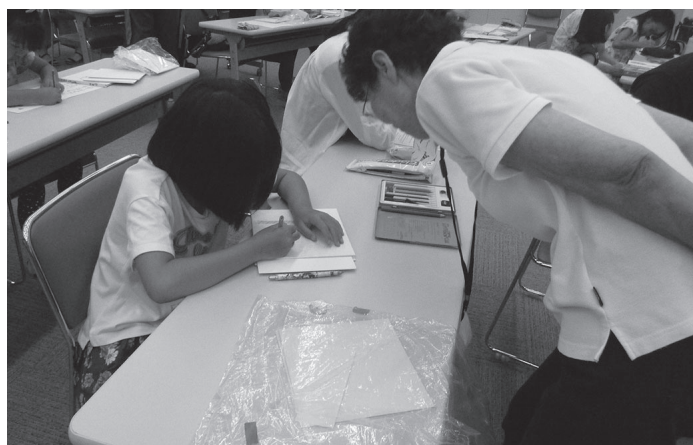
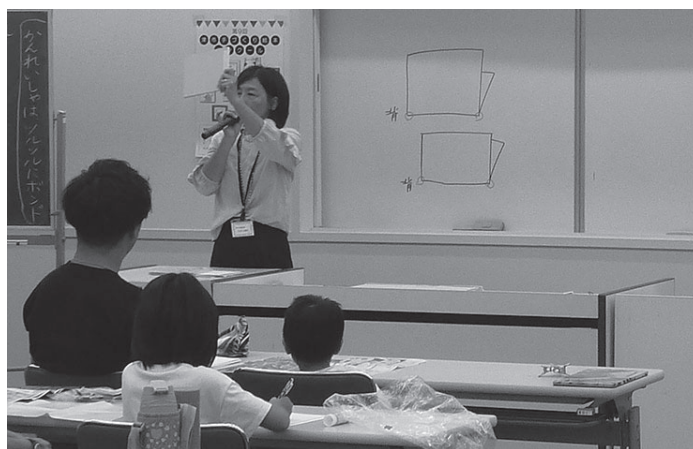
津図書館 手づくり絵本教室・しかけで楽しむ手づくり絵本教室

保育園や幼稚園へ通う子どもから、大人の方まで、今年もたくさんの方が手づくり絵本の講座に参加されました。

7月下旬から8月上旬にかけて、市内4会場で実施した「手づくり絵本教室」には、合わせて100人の定員のところ、3倍近くの応募があり、抽選で選ばれた皆さんが絵本づくりに取り組まれました。また、8月下旬には津図書館で、「しかけで楽しむ手づくり絵本教室」を開催しました。

どちらの講座も、津手づくり絵本の会の方が講師です。2日間かけて、参加者の皆さんは講師の方から教えてもらい、絵本を仕上げることができました。

作業の説明を聞き終えてすぐに、絵をどんどん





描き進める子がいたかと思えば、講師の方が作られた絵本をめくり、作品のイメージを膨らませているような子もいました。恐竜、動物、花、果物、ケーキ、海…おいしそうな絵、迫力ある絵や涼しそうな絵と、とても楽しそうでした。講師の方から「こんなふうになると色に深みが出ますよ。」や画用紙を手にとって「ここが、こうなります。」と具体的に説明されることもありました。そんなちょっとしたアドバイスに「あっ、そうか！」と納得している様子も見られました。



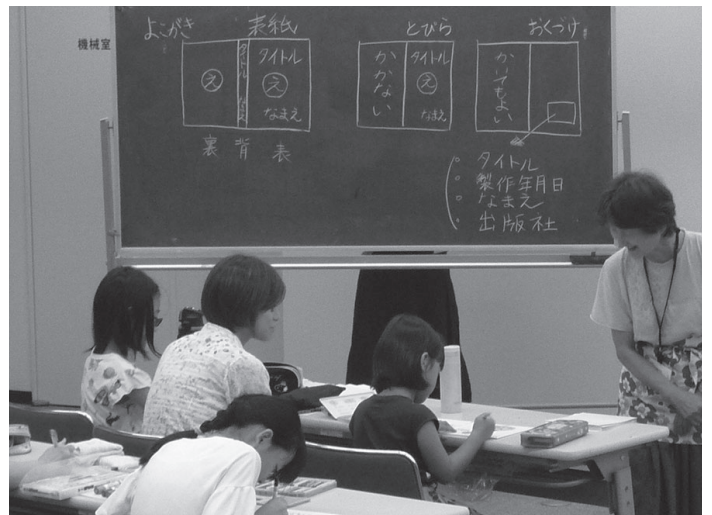
既製の本に絵を描いたり、色を塗ったりするだけではなく、カットされた用紙を糊付けして貼り合わせ、硬めの表紙を作り、また、発行者や発行日などを記した奥付けも作ります。子どもはもちろん、保護者や大人の方も一心不乱に集中して取り組んでいました。

こうして、世界にひとつだけの絵本ができあがりました。

子どもの名前がついた主人公の物語だったり、飼っている犬のお話だったり、皆さんそれぞれ素晴らしい作品になりました。また、「孫にプレゼントするんです。」という方もいました。世界にたったひとつ、お孫さんだけの絵本の贈り物って素敵ですね。

終了時には、絵本を手を持って記念撮影をしました。皆さんキラキラした笑顔でした。

さあ、次はあなたも挑戦してみませんか。あなただけのすてきな物語をあたためておいてくださいね。



知ろう私たちの郷土

三重県ゆかりの旅日記

川上裕子

今回の「郷土史の原典」では、旅日記について紹介しようと思います。旅日記とは、その名の通り旅の様子を記した日記のことで、紀行・道中記とも呼ばれています。作品としては、紀貫之の『土佐日記』を始め、阿仏尼の『十六夜日記』、松尾芭蕉の『奥の細道』などが有名です。こうした旅日記の一部は、津図書館所蔵の「稲垣文庫」と「橋本文庫」、「井田文庫」に古典籍として所蔵されています。

ここでは、それらの中から三重県にゆかりのある旅日記を4作品紹介します。

1つ目は『伊勢太神宮参詣記』です(稲L91-2は写本、橋L29-21・井L20-33は板本)。室町時代の医者で歌人の坂十仏が、康永元(1342)年十月に「太神宮参詣の心ざしありて」(以下、「」内は原資料からの引用)と都を出立して伊勢神宮に参詣した時の日記です。道中安濃津の知人を訪れ、阿漕浦・雲出川などを巡って、伊勢山田の三方院に至るまでの旅の様子を記しています。

2つ目は『伊勢紀行』です(橋L29-19板本外題は『群書類従 三百三十四輯』)。これは、室町時代の歌人で僧侶でもあった堯孝が、永享五(1433)年三月に將軍足利義教が行なった伊勢参宮に随行した時の日記です。十七日に「太神宮参詣の事侍り」て、都を出立して近江・鈴鹿・齋宮・山田を巡り、伊勢神宮に参宮して二十三日に大津に帰るまでの様子を、和歌を中心に記しています。

3つ目は『宮川日記』(稲L17-3・井L20-34ともに写本)です。これは江戸時代の神道家である多田南嶺が、延享三(1746)年に外宮神主である度会卓彦との約束で伊勢へ赴いた時の日記です。旅の様子や伊勢に着いてからのことはもちろん、二月六日に都を出立するまでの間に知人らが「餞別の茶湯」や「酒盛」を行なったことについても記されており、当時の旅立ちの様子を見ることが出来ます。

4つ目は『菅笠日記』上下(橋L12.1-82・83板本)です。これは、明和九(安永元/1772)年に本居宣長が稲掛大平(後の本居大平)を始め親しい門人や友人五人とともに、花見と水分神社への参詣を目的として吉野へ旅をした時の日記です。松阪を出発して初瀬街道を通り、そこから吉野へ行き、帰りは飛鳥路や多気を経て松阪へ帰った様子が記されています。

これらの日記の中には旅の行程の他に、慣れない旅への不安と期待、旅先で出会った風景や名所を訪れた時の感動といった書き手の思いや感想も多く記されています。例えば、『菅笠日記』では「大仰などいふ里を過ゆく」その道中の所々で「櫻の花ざかり也。立やすらひては見つゆく」と桜を楽しみながら歩いたと記しています。

今回は、三重県に関係のある4作品を紹介しました。これ以外の作品もほとんどが同じように、それぞれの旅の様子やその時々書き手の気持ちを記しており、また、旅の途中で詠んだ和歌や漢詩、俳句も記されています。そこから、単なる旅の記録というだけでなく、文学作品としての旅日記の姿が伺えると思います。



【今回紹介した旅日記】(各一冊)

参考文献

大久保正編『本居宣長全集』第十八卷(筑摩書房 1973年)、日本古典文学大辞典編集委員会『日本古典文学大辞典』第一・三卷(岩波書店 1983・1986年)、市古貞次(他)編『国書人名辞典』第二・三卷(岩波書店 1995・1996年)、大野晋編『本居宣長全集』別巻三卷(筑摩書房 1997年)(他)

レファレンス事例集



Q 三重県や津の災害の歴史について書いたものが見たい。

A 「三重県災害史」「三重歴史災害史年表稿」「津市史」「二十世紀自然災害」「津市民文化」「津市地域防災計画 資料編」を案内しました。「津市地域防災計画 資料編」の前半のページには、風水害や火災、地震の年表が掲載されています。

図書館員のひとりごと

図書館でも避難訓練を定期的に行います。おじいちゃんに連れられた男の子。本を探していたときでしたが、訓練に参加してくれました。

消防隊員「誰でもいいですから、消火器を使ってみませんか？」

おじいちゃん「おまえも参加してみ？消火器使ったことなんてないやろ？」

男の子「いやや…」

おじいちゃん「参加したらええのに。ここまで何しに来たんや…」

男の子「…本を借りに」



～図書館員のおすすめの本～

「井村屋さんの毎日ほっこり あずきレシピ」岩崎啓子 栗山善四郎／料理 主婦の友社

市内高茶屋地区にある井村屋の工場ではあずきを使ったさまざまな商品が作られています。この本は、あずきの基本の炊き方や工場で作られた製品を使ったおいしいレシピが満載です。

たとえば、お赤飯の素を使った和風オムライスやゆであずき缶を使ったティラミスなどなど。

皆さんも挑戦されてみてはいかがでしょうか？

開館時間・休館日などのご案内

館(室)名及び所在地	開館時間	館(室)名及び所在地	開館時間
津図書館 ☎229-3321 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内	平日／9:00～19:00 土・日曜日、祝・休日／ 9:00～17:00	安濃図書館 ☎268-5822 安濃町東観音寺418 津市サンヒルス安濃内	10:00～18:00
久居ふるさと文学館 ☎254-0011 久居東鷹跡町2-3	平日／9:00～18:00 土・日曜日、祝・休日／ 9:00～17:00	きらめき図書館 ☎292-4191 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内	9:00～17:00 (7・8月の平日は18:00まで)
ポルタひさいふれあい図書室 ☎254-0464 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内	平日／10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日／ 10:00～18:00	一志図書館 ☎295-0116 一志町井関1792 津市とことめの里一志内	10:00～18:00 (7・8月の平日は19:00まで)
河芸図書館 ☎245-5300 河芸町浜田782	10:00～18:00	うぐいす図書館 ☎262-5000 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内	平日／10:00～18:00 土・日曜日、祝・休日／ 9:00～17:00
芸濃図書館 ☎265-6004 芸濃町椋本6824 津市芸濃総合文化センター内	9:00～17:00	美杉図書室 ☎272-8092 美杉町八知5580-2 津市美杉総合文化センター内	9:00～17:00
美里図書館 ☎279-8122 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内	9:00～17:00	休館日(全館共通) 火曜日・毎月最終木曜日(館内整理日) 年末年始(12月28日～1月4日)	

※特別整理期間(年1回、14日以内)などで、臨時に休館することがあります。

詳しくは、図書館カレンダー、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館ホームページ及び携帯版ホームページ <http://www.library.city.tsu.mie.jp/>



携帯電話QRコード

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第25号

発行日／平成30年11月1日 編集及び発行／津市教育委員会事務局 津市津図書館
三重県津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321